

異なる背景を持つ人たちと "違い"をどう受け止め合うか

第1回「地域共生社会」と市民活動

ゲスト



●益山 ゆき氏

(NPO法人ユニークユニバース 代表)

障害児を対象に「音楽療法 UNICOまつど（松戸市稔台）」
「音楽療法UNICOまくり」
を運営している。UNICOは、
ユニーク（唯一無二）な子
どもから名付けられ、障害のある
なしに関係なくどの子も大切な
唯一無二の子どもであることをモットーに、子どものため
の子どもの自由な表現の場を提供している。



●中村 佳子氏

(一財)言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ 研究員
子ども食堂まんぶく小屋代表
Matsudo子どもの未来へwith us理事)

子どもが3歳と1歳半の時に、せめて
子どもは英語に困らないようにと
ヒッポに入会。国内外問わず多世代、
多様な人の中で子育て・言葉育てを
楽しんできた。
ホームステイ受け入れ17カ国30人以上。



今回は、障がいと多文化の2つの切り口から、まさしく共に生きる地域づくりに向けてどのようなことが
必要なのか、ゲストのお話を踏まえて参加者の皆さんとも一緒に考えていきたいと思ひます。



《お申込》左のQRまたはメールにてお申込みください。

会場：まつど市民活動サポートセンター
(Zoomによるオンライン配信あり)
定員：50名 (会場定員15名)



<持続可能な市民社会を実現するための実践研究会とは>

NPO法が出来てから20年以上が経ち、時代の変化と共に、様々な社会課題に取り組むNPO法人が立ち上がってきました。松戸市
においては比較的早い段階で市民協働の条例が施行され、市民活動が活発な地域と言われることもあります。しかし一方で「知る人
ぞ知る」状態の団体も多く、市民を巻き込むことが上手く出来ていない事例も少なくありません。本研究会では、持続的に市民社会
を実現していく上で必要な観点を学び合うことを目的として、年度ごとに様々なテーマを設定して研究会を開催します。

主催：まつど市民活動サポートセンター (指定管理者：NPO法人まつどNPO協議会)

〒271-0094 松戸市上矢切299-1 総合福祉会館内

TEL:047-365-5522 mail: hai_saposen@matsudo-sc.com

HP: <http://www.matsudo-sc.com/>

